



平成 20 年 10 月 29 日

各 位

会社名 **アンリツ株式会社**
 代表者名 代表取締役社長 戸田 博道
 (コード番号 6754 東証)
 問合せ先 コーポレートコミュニケーション部長
 川辺 哲雄
 (TEL 046 - 296 - 6507)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成20年4月24日に公表した業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

・平成21年3月期第2四半期連結累計期間 業績予想数値との差異(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成20年4月24日発表)	47,500	600	1,000	3,000	23.54
今回発表実績(B)	44,426	544	176	1,565	12.28
増減額(B-A)	3,073	1,144	1,176	1,434	-
増減率(%)	6.5	-	-	-	-
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	48,812	1,276	316	174	1.37

・平成21年3月期連結通期 業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成20年4月24日発表)	100,000	4,500	3,700	1,000	7.85
今回修正予想(B)	97,000	4,000	3,000	500	3.92
増減額(B-A)	3,000	500	700	500	-
増減率(%)	3.0	11.1	18.9	50.0	-
(ご参考)前期実績(平成20年3月期)	100,485	5,356	2,006	3,900	30.60

・修正の理由

【第2四半期連結累計期間】

当社グループは、主力の計測器事業において、「利益ある成長」戦略を再構築する「経営革新 2008」のもと、収益性改善と競争力強化のための施策に取り組んでまいりました。

計測器事業において、第3世代移动通信サービス(3G)及び3.5世代(3.5G)向け計測器では、米国で基地局建設・保守用のハンドヘルド製品が、アジアで携帯端末製造用がそれぞれ堅調に推移しましたが、日本では需要の一巡と携帯端末メーカーの事業撤退の影響などにより研究開発用及び携帯端末製造用の売上が大幅に減少したことなどから、前回発表予想を下回りました。

一方、利益面につきましては、計測器事業での売上減少にもかかわらず、「経営革新 2008」の施策であるKPI(業績効率化指標)マネジメントの徹底により、研究開発投資及び販管費の効率化などが当初の見込み以上に進展したことから、前回発表予想を上回りました。

【通期】

計測器事業において、WiMAX、LTE 関連市場が活発化するなど収益機会はある一方、米国を起点とする金融危機と景気減速が世界全体に波及するなど、マクロ経済は厳しさを増しています。加えて急激な為替変動などもあり、これらの状況を考慮すると第2四半期までの売上高の減少を挽回することは困難と判断し、前回発表予想を修正するものです。

これにより、売上高については30億円減の970億円を見込むとともに、利益につきましては売上減少に伴い、営業利益については5億円、経常利益については7億円、当期純利益については5億円をそれぞれ減額修正します。

なお、配当につきましては、期初計画どおり1株当たり年間7.00円(うち期末配当は3.50円)を予定しております。

(参考)

事業別売上高の予想(平成21年3月期連結通期)

(単位:百万円、%)

	前回発表予想(A) (平成20年4月24日発表)	今回修正予想(B)	増減額(B-A)	増減率(%)	前期実績
売上高	100,000	97,000	3,000	3.0	100,485
計測器	71,500	69,000	2,500	3.5	72,717
情報通信	6,000	6,000	-	-	5,749
産業機械	14,500	14,500	-	-	13,595
サービス他	8,000	7,500	500	6.3	8,422

(参考) 想定為替レート: 1米ドル=100円

事業別営業利益の予想(平成21年3月期連結通期)

(単位:百万円、%)

	前回発表予想(A) (平成20年4月24日発表)	今回修正予想(B)	増減額(B-A)	増減率(%)	前期実績
営業利益	4,500	4,000	500	11.1	5,356
計測器	3,000	2,500	500	16.7	4,126
情報通信	100	100	-	-	76
産業機械	1,000	1,000	-	-	814
サービス他	400	400	-	-	338

(注意事項)

本発表資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定や判断に基づくものであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

実際の業績に影響を与える重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場のなかでアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。ただし、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。